

コース	C コース
プログラム	サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学 スペイン語
渡航国	スペイン
渡航期間	4 週間
所属学部	国際教養学部

今回、YCU 短期プログラムとして、スペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラ大学にて、4 週間スペイン語の語学研修を行いました。

まず、渡航先のサンティアゴ・デ・コンポステーラについてですが、夏なのにもかかわらず、暑すぎるといことがあまりなく、非常に過ごしやすい気候でした。都心のように人が多すぎることもないので、治安も良く、スリなどの犯罪も、住んでいる間聞くことは一度もありませんでした。非常に住みやすい街だったと思います。

寮についても、学校から徒歩 5 分もかからないほどの距離にあり、部屋も広く清潔で良いところでした。1 週間に 1~2 回清掃が入っていました。また、寮の 1 階には食堂があったのですが、ここも安くて美味しく、とても良かったです。全体的に非常に良い環境だったのですが、強いていえば、クーラーや扇風機などは部屋にはないので、40 度超えの日は寝るのが大変でした。耐えかねて自分で扇風機を買っている人もいるぐらいでした。ただ、基本的には過ごしやすい気温で、特に問題はなかったです。

そして、授業についてですが、最初はついていけるかととても不安でしたが、先生も友達も優しく、なんとか楽しくコースを修了することができました。初日に筆記と口頭のテストを受けて、次の日からそのテストの結果によって配属されたレベルのクラスで授業が始まりました。A2 ぐらいのクラスだと思っていたら B1 のクラスに配属され、初日は先生の言っていることが全くわからず、クラス変更も検討しましたが、先生と友達に説得され、そのままのクラスで受講することに決めました。結果的に、この判断は正しかったと思います。授業を受けていくにつれ、難しい教科書の内容も先生の言っていることもだんだんわかるようになってきて、スペイン語の上達を実感することができました。

サンティアゴに来て何よりも良かったと思うのは、素敵な友達に出会えたことです。留学に来ていた人は良い人がとても多く、すぐに仲良くなることができました。授業中一緒にグループワークをしたり、放課後一緒に遊ぶのがすごく楽しかったです。みんなスペイン語のレベルはバラバラでしたが、誰とでも意思疎通することができました。授業中はもちろん

スペイン語でしたが、放課後は、スペイン語や英語、各々の母国語など色々な言語が飛び交っていて、グローバルで面白いなと感じました。また色々な地域の出身の人に会うことができたので、それだけさまざまな文化にも触れることができました。

留学中の1番の思い出は、サンティアゴで行われたフィエスタ(お祭り)です。観覧車やジェットコースター、その他アトラクションに加え、コンサートもいろいろな場所で行われていました。今まで何もなかった公園に、突然これらのアトラクションや施設が臨時的に建つスピード感がすごかったです。最もカルチャーショックを受けたのが、観覧車です。日本の観覧車は、ゆっくり回転して頂上からの景色を眺めると思いますが、スペインの観覧車は、アトラクション要素が強く、ジェットコースターのように速かったです。観覧車で重力を感じるのは初めてで驚きました。こういったところにまで、地域による違いがあらわれるということが面白いなと感じました。

私は以前マドリードに住んでいましたが、そのときはスペイン語はスーパーぐらいでしか使わなかったのですが、毎日スペイン語を教わって放課後も友達とスペイン語で会話できるのが新鮮でとても楽しかったです。スペイン語力の強化はもちろんですが、サンティアゴならではの雰囲気や文化を体験でき、そして世界中の素敵な友達に出会えたことが非常に大きかったです。この経験を糧にして、これからもスペイン語の勉強に励みたいです。

コース	Cコース
プログラム	サンティアゴ・デ・コンポステーラ大学 スペイン語
渡航国	スペイン
渡航期間	6週間
所属学部	国際教養学部

私は1年後期からスペイン語に触れ始め、その英語とも日本語ともかけ離れた使い方に魅力を感じ、2年が始まる直前でこのプログラムに参加することを決意しました。渡航期間と重複している講義は履修できないとのことで、2年前期では聴講生としてスペイン語Ⅱに出席し渡航直前まで継続して学習を続けました。参加前は文法だけが知識として頭の中にある状態で、先生と会話をしようとも言葉が詰まってなかなかうまくしゃべれませんでした。現地で6週間のスペイン語での授業を通して、簡単な日常会話はすぐ口から出るようになりました。

授業はスペイン語で行われるため初日は先生が何を言っているのか本当にわかりませんでした。初日にクラス分けテストを行い、4人クラスに入りました。担当の先生がいい先生で、聞き取りやすいスペイン語を話してくれるので、質問しやすく、話す機会も多くそこで結構鍛えられました。又随時理解しているか確認を取ってくれるので内容をしっかり理解することができました。後半になるとクラスが合併し大人数クラスになり、それに伴い先生も一人変わったのですが、新しい先生は話すスピードが速く、正直あまり理解できませんでした。スペイン語を学ぶコースなので実際にスペイン人の学生との接点は一切ありませんでしたが、台湾や韓国、アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ等、様々な地域から学生が集まってともに授業を受け、同じ寮で生活するため、スペイン以外の文化に触れることもできました。

14時には授業が終わるので、行く前は夜寝るまで何をすればいいのだろうと思っていましたが、お昼ご飯を食べ、お昼寝をしてからみんなと散歩したり卓球をしたりしていると1日があっという間に終わります。7月15日に現地につきましたが、ちょうどこの前の週から暑くなり始めたらしく、一日を通して暑かったです。寮にはエアコン、扇風機がないので夜は暑くて起きてしまうこともありました。ハンディファンや汗拭きシートを持って行って正解でした。逆に8月に入ると朝晩寒くなり、窓を開けばなしで寝ると今度は寒くて起きることもありました。昼は暑いので薄手の羽織れ

る長袖があるといいと思います。

サンティアゴはとてもちんまりとした街なので、基本的に歩いて移動しますが週末になると電車やバス、飛行機を使っていろいろな所を旅行しました。その中でもやはりサンティアゴが一番住みやすく感じ、ここで少しの間ではありましたが生活できてよかったと思っています。学び始めて間もない言語であるため、6週間という短期間でも学習効果は十分出ていたと思います。